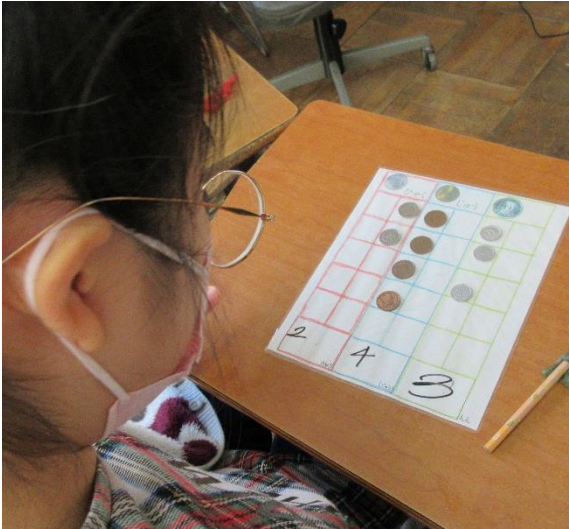


自作教具の活用事例

【作品名】 お金いくらか分かる	【学校名】 日立市立塙山小学校
【活用できる領域・教科等】 算数 生活単元（買い物）	【制作者名】 山下 奈緒美
【制作の意図】 ・ 1 円玉、10 円玉、100 円玉を使って 3 桁の金額を表すことができるようにする。	【使用方法】 ・ シートの上に金種ごとに 1 マスの上に硬貨を 1 枚ずつ置く。それぞれの桁の数を書くことで 3 桁までの金額が分かる。 ・ 金額の数字をマスに書く。1 円、10 円、100 円のそれぞれ金種ごとに必要な枚数をマスに置くことで、その金額の硬貨の必要な枚数が分かる。
【制作上の工夫】 ・ 100 円、10 円、1 円の金種ごとに色分けして区別しやすい。	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ・ 100 円、10 円、1 円の硬貨をそれぞれのところに置くと金額が分かる。 ・ 345 円とそれぞれの枠に書くことで、必要な硬貨の種類や枚数が分かる。
【材料・材質・部品等】 ・ 金種表 ・ ラミネート ・ 模擬硬貨（硬貨）	